

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587046502	科目番号 / Course code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総研棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2918		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「グローバル化」の進展に伴い、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドを背負った人々は地球規模で移動しています。本授業では、「多文化化」を加速させた日本社会に焦点を当て、日本をめぐる「ヒト」の移動 (= 移住現象) への理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会の一員として「より広い視野」を持つようになること、2. 日本には多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった人々の存在が理解できるようになること、3. 移民を取り巻く状況やその移動の理由・背景を学ぶこと、4. 「共に生きる (多文化共生)」可能性を見つけることを授業目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加 (コメントシート、小課題、ミニレポートを含む) 50%、最終試験 (あるいは最終レポート) 50点の計100点をもとに総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
キーワード/Keywords	移動、移民、国家、エスニシティ、ジェンダー		
教科書・教材・参考書/Materials	授業では随時プリントを配布。適宜参考書を紹介。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活のある場面で外国人とよく出会う、といった身近な出来事にも常に注意を払っておくこと。新聞などに目を通し、移民がおかれている状況にアンテナを張っておくこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【イントロダクション】
第2回	移動するということ?基本的な概念
第3回	グローバル化における「移民の時代」
第4回	隣の外国人
第5回	移民政策と外国人の受け入れ
第6回	アジア域内の移民の展開と「移動の女性化」
第7回	福岡の外国につながる人たち?アジア女性センターの活動から <特別講師:本多須美子>
第8回	グループワーク:多文化共生の可能性
第9回	【エスニックグループ】日系ブラジル人社会
第10回	【エスニックグループ】フィリピン人社会
第11回	【エスニックグループ】華人華僑社会
第12回	【ケーススタディ】国際結婚移民と地域社会
第13回	【ケーススタディ】教育と多元化する社会
第14回	【ケーススタディ】学校現場の多文化共生?沖縄のアメラジアンを考える
第15回	まとめ
第16回	試験もしくはレポート提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587063902	科目番号 / Course code	05870639
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15691_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (文化人類学でみる世界と日本) / Anthropology for Cross-Cultural Understanding		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi, 賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi,		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda nagasaki-u.ac.jp v (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	今を生きる私たちには、世界の様々な文化を背景にもつ人たちと交流し、ともに暮らすことが求められています。この授業では、異なる文化というときの文化とは何か、その基本を学ぶとともに、異なる文化を理解しようとする方法についても学びます。自分が慣れ親しんだ考え方からいったん離れて現実をとらえなおし、それを基にして新たな考え方が展開できるようになる力をつけましょう。授業の前半では、文化人類学的な見方から人間と文化について説明します。後半では、文化人類学の中心的な方法であるエスノグラフィー(民族誌)という方法論を紹介し、実際にエスノグラフィーを書く練習をします。		
授業到達目標/Course goals	(1) 異文化理解につながる知識を習得します。(2) 質的研究で重要なエスノグラフィーを書く手法の基本を身につけられます。(3) エスノグラフィーを書くことによって、調査対象について新たな見方ができるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントシートの内容)50点、授業中に行う小テスト20点、最終試験(あるいは最終レポート)30点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	出席と予習復習(内容は授業中に指示)。小テストや最終試験(あるいはレポート)のための準備。		
キーワード / Keywords	人間と文化、多様性と他者理解、エスノグラフィー		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はない。授業中に必要な資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業では受講生それぞれが感じる不思議や違和感について聞いていきます。自分の常識と違うと感じたことをメモしておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	文化とは何か
第3回	文化の多様性と交流
第4回	自文化と異文化
第5回	文化相対主義
第6回	異文化交流の意義 (1)
第7回	異文化交流の意義 (2)
第8回	異文化交流の意義 (3)
第9回	エスノグラフィーという方法
第10回	エスノグラフィーの例 (1)
第11回	エスノグラフィーの例 (2)
第12回	エスノグラフィーを書く (1)
第13回	エスノグラフィーを書く (2)
第14回	エスノグラフィーを書く (3)
第15回	まとめ
第16回	定期試験 (または最終レポート)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587064102	科目番号 / Course code	05870641
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15701_005		
授業科目名 / Course title	文化の交流と共生 (国際関係論) / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA, 賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学・歯学・工学・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	複雑な国際関係を基礎的な概念と理論で把握し、現代の主要な国際問題(たとえば、平和、環境、難民、寛容など)を検討する。その背景にある歴史、文化、思想、経済の変化は国際関係の学際的な枠組みを作り上げる。安全保障、経済と社会のグローバル化、人権の擁護などを事例にして、国際関係の理解を目指す。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、複雑な現代国際関係を理解することと国際関係に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終レポート *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	新聞やテレビなど、いきかうニュースを整理し、理解する力をつけておくことは非常に大切です。ですから、国際関係論、国際政治学の基礎をしっかりと理解するために『中央公論』、『世界』などの雑誌を読む必要がある。		
キーワード/Keywords	平和と紛争、国際移民、国家、外交、グローバル化、人権、人間の安全保障、国家安全保障		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書1: 『現代国際関係学?歴史、思想、理論』 進藤榮一、有斐閣Sシリーズ、2001年 教科書2: 『現代国際関係論』 花井等、岡部達味、東洋経済新報社、2005年 教科書3: 『国際政治学をつかむ』 村田晃嗣 [ほか] 著、有斐閣、2015年		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どなたでも受講可能です。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：国際関係、グローバル化、人間
第2回	国際関係と歴史
第3回	国際関係の理論（リアリズム、リベラリズム、構成主義）
第4回	パワーと国益
第5回	対立と強調
第6回	外交
第7回	国際政治経済
第8回	現代国際問題
第9回	地域研究
第10回	人間と国際関係（1）人権
第11回	人間と国際関係（2）安全保障
第12回	人間と国際関係（3）経済発展と貧困の削減
第13回	世界の中の日本（1）歴史
第14回	世界の中の日本（2）現代
第15回	統括